

履修モデル

学位取得に向けて研究するために、研究課題に即した適切な授業科目を選択しなければならない。そのため、以下の履修モデルを参考に研究課題に即したオリジナルな履修計画を立てることとなる。

| | | |
|------------------------------------|---|--|
| 研究題目 | 心理学的アセスメントと心理療法の統合的活用に関する研究 | |
| 養成する具体的な人材像 | 公認心理師、臨床心理士、医療機関における心理カウンセラー、教育相談カウンセラー、スクールカウンセラー等 | |
| 研究内容 | 心理学的アセスメントは精神医学的な診断と異なり、クライアントやその人を取り巻く人的・物的環境に関する可能性の発見と予測であるという側面をもっている。その意味において、心理学的アセスメントはすでに心理療法の一部であるとも言える。従来ロールシャッハテストやTAT、描画法テストを中心とする心理検査の結果は、それが面接そのものの中で活用されることはあまりなく、また、活用しようとする場合でも、面接者独自の経験に基づいてケース・バイ・ケースでおこなわれることが多かった。そこで、このような心理検査を使用した場合の心理学的アセスメントと、その後続く心理療法とをどのように有機的に統合し、活用するかに関して、多くの事例に即しながら、そのプロセスと効果を明らかにし、モデル化していくための研究をしていく。 | |
| 指導教員 | 福島 哲夫教授 研究計画、全般的指導、統括 香月菜々子教授 アセスメントに関する先行研究の理解、指導 | |
| 履修科目 | 1年次 | 2年次 |
| | (臨床心理学基礎分野) 臨床心理学特論 (4単位) 臨床心理面接特論Ⅰ (心理支援に関する理論と実践) (2単位) 臨床心理査定演習Ⅰ (心理学的アセスメントに関する理論と実践) (2単位) 臨床心理査定演習Ⅱ (2単位) 臨床心理基礎実習 (2単位) 臨床心理実習Ⅰ (心理実践実習) (1単位) (臨床心理学専門分野) 心理学研究法 (2単位) 臨床認知心理学特論 (2単位) 精神医学特論 (保健医療分野に関する理論と支援の展開) (2単位) 臨床心理学研究法特論Ⅰ (投映法基礎) (2単位) (臨床心理学実践分野) 教育分野に関する理論と支援の展開 (2単位) 心の健康教育に関する理論と実践 (2単位) | (臨床心理学基礎分野) 臨床心理面接特論Ⅱ (2単位) 臨床心理実習Ⅱ (心理実践実習Ⅱ) (1単位) 臨床心理特別実習Ⅰ (心理実践実習Ⅲ) (1単位) 臨床心理特別実習Ⅱ (心理実践実習Ⅳ) (1単位) (臨床心理学専門分野) 家族心理学特論 (家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践) (2単位) 障害児心理学演習 (福祉分野に関する理論と支援の展開) (2単位) 臨床心理学研究法特論Ⅱ (投映法応用) (2単位) (臨床心理学実践分野) 司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開 (2単位) 産業・労働分野に関する理論と支援の展開 (2単位) |
| | (研究指導) 臨床心理学特別研究Ⅰ (2単位) | (研究指導) 臨床心理学特別研究Ⅱ (2単位) |
| 必修12科目22単位、選択11科目22単位、合計23科目44単位履修 | | |